

世界に平和を・戦争の基地はいらない



羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.6.5 No. 198 連絡先 FAX 042-555-1911

我らの渡邊さん 4回目の平和行進、沖縄→広島コースをスタート

渡邊正郎さんからの便り 《6月1日、2014年原水爆禁止国民平和行進 沖縄→広島コース、スタートしました。

曇り空の中、私は沖縄県内通し行進者とともに名護市辺野古の浜の団結小屋に到着。眼の前は海で、浜を段々に固めたコンクリート場所に座り込み、行進の出発集会を待ちました。団結小屋は辺野古の海を新基地建設反対のための象徴の一つでもあるといわれているそうです。団結小屋から少し離れた浜辺が出発場所です。およそ150名が参加して出発集会開かれました。参加者は若い人が多いのにはびっくりしました。宣伝カーからは絶えず歌や音楽が流れ、シュプレヒコールでは辺野古の埋め立て工事やめろ！米軍基地撤去！オスプレイ、アメリカに帰れ！核兵器をなくそう！など、ドライバーや沿道の人たちに訴えながら賑やかに行進しました。沿道からは行進者に手を振って応えてくれる人が多く反応は良かったように感じました。横田 DVD #2を22枚普及。横田基地の撤去を求める西多摩の会、渡邊正郎》(オレンジの幟)



嘉手納の特殊戦飛行隊MC-130P 3日夜10時 住宅地で飛行 怒り！

6月2日 MC-130P 3機の出入りがありました。米空軍嘉手納基地・第353特殊戦航空群・第17特殊戦飛行隊のMC-130P“コンバット・シャドー”(右写真)です。特殊戦の任務できたものと思われませんが、何と、3日の夜10時まで、住宅地上空を低空で飛行し爆音を轟かせました。



5月下旬には、C-146A(右下写真)の出入りがありました。C-146Aは米空軍が特殊戦部隊で使用するために導入しました。ニューメキシコ州キャノン空軍基地の第27特殊戦航空団第524特殊戦飛行隊に11機ほど配備されているそうです。



CV22オスプレイも特殊作戦機 横田基地にも嘉手納基地にもNO！

CV-22 オスプレイの配備先は、嘉手納基地か横田基地、と昨年夏騒がれました。最終的な決定は2014年早々、配備は2015年に行われるとも言われましたが、その後情報はありません。CV-22は空軍特殊作戦型で、海兵隊仕様MV-22には搭載されていない地形追従レーダーを持ち、夜間低空高速侵入が可能です。日本の7つの低空飛行ルートを狙っているのは、地形追従レーダーを持っているCV-22ではないのか。CV22オスプレイ日本配備NO！の声を広げよう。

航空自衛隊、レッド・フラッグ・アラスカに310名を派遣 (No. 198 の裏面)

航空自衛隊は、2014年6月2日から7月3日まで、アメリカ・アラスカ州で開催される「レッド・フラッグ・アラスカ」に、航空機12機と人員約310名を派遣すると発表しました。

目的は「米空軍の実施する演習に参加し、日米共同訓練を実施することにより、部隊の戦術技量及び日米共同対処能力の向上を図る。」ことだそうです。

レッド・フラッグ・アラスカ(RFA)は、6月17日から6月28日に、アラスカ州イーロン空軍基地とエルメンドルフ・リチャードソン統合基地周辺で開催される総合的な航空軍事演習です。参加するのは、F-15が6機、E-767が1機、C-130Hが3機、KC-767が2機で、F-15は米空軍の空中給油機の支援を受けて日本とアラスカ間を飛行します。

過去のRFAで 空自戦闘機がB52爆撃機を援護訓練 集団的自衛権の先取りだ

レッド・フラッグ・アラスカ2012では、航空自衛隊のF-15戦闘機の編隊が核攻撃も行う米軍のB-52戦略爆撃機を援護する訓練に参加していたことが分かりました。日本共産党の笠井亮議員が5月30日の衆院外務委員会で、防衛省の内部資料(体験記)をもとに明らかにしたもので、同省も事実関係を認めました。体験記では小松基地(石川県小松市)のF-15部隊所属の幹部が、「RFAにおけるOCA(攻勢対航空)ミッション中における出来事です。航空自衛隊のF-15編隊は、B-52の援護戦闘機として果敢に先陣を切って経路を啓開し、粘り強く戦闘を継続」などと参加時のようすを綴っています。笠井氏は、「攻勢対航空」が敵国領土に侵攻し、相手航空戦力の撃滅を目的とした訓練であることを指摘。米爆撃機の護衛は、憲法9条が禁じる集団的自衛権の行使を前提とした訓練そのものだと追及しました。

空自横田基地 航空戦術教導団の航空支援隊は他国を攻撃する

前号で「航空支援隊は、青森県の三沢基地の航空支援隊を改編。爆撃誘導員を育成、訓練します。」と書きましたが、説明不足なので、内藤功先生のレジメより追加します。

《爆撃誘導員は、米空軍の【コンバット・コントローラー】を目標とする。CV22(米空軍のオスプレイ)やヘリコプターで、最前線に進出。パラシュートで降下。敵地へ潜入。敵ミサイル基地等の攻撃目標に近づき、攻撃目標の映像や情報を味方戦闘機に伝える。どこから発射されるか。味方戦闘機の飛行経路、爆弾投下のタイミングを指示する。》

なお、2014年度防衛予算では、航空自衛隊F-2戦闘機から投下される【レーザー精密誘導装置付き爆弾】(LJDAM)を地上から誘導するためのレーザー装置を取得(3億円)、陸上自衛隊に装備し、陸上・航空自衛隊による統合火力誘導を実施するとある。》

横田基地の撤去を求める座り込み

日米軍事一体化した横田基地、航空自衛隊は航空戦術教導団などの新編で、ますます戦闘態勢を強めようとしています。5月18日の座り込みは、日本の平和の守り手の女性の参加が目立ちました。

撤去の会は座り込みの参加を呼びかけています。



☆ 6月15日(日) ☆ 7月20日(日) ☆ 8月17日(日) ☆ 9月21日(日)

午後1時30分～3時30分 福生フレンドシップパーク (JR 青梅線 牛浜駅下車)